

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

| 教科 | 全国平均 正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|----|-------------|--------|----------|------|----------|--------|
| 国語 | 66.8% | ○ | | | | |
| 算数 | 58.0% | ○ | | | | |
| 理科 | 57.1% | ○ | | | | |

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領域 | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|-----------------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 76.9% | | | | | ○ |
| 情報の扱い方に関する事項 | 63.1% | ○ | | | | |
| 我が国の言語文化に関する事項 | 81.2% | | | | | ○ |
| 話すこと・聞くこと | 66.3% | ○ | | | | |
| 書くこと | 69.5% | ○ | | | | |
| 読むこと | 57.5% | ○ | | | | |

【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、高い正答率となりました。毎日の授業や家庭学習において、学習した漢字や言葉を積極的に使いながら文章を丁寧に書くことを続けた結果、漢字や言葉を正しく使う力が向上しました。
- 「読むこと」の領域では、叙述をもとに文章全体の構成を捉えて要旨を把握することや、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける問題の正答率が全国平均を下回りました。日々の授業において、文章全体をみて捉える力を伸ばしたり、情報を整理して必要な事柄を選ぶ力を高めるために、他教科においても資料を活用して読解力をつける学習を積み重ねていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領域 | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|--------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 数と計算 | 62.3% | ○ | | | | |
| 図形 | 56.2% | | ○ | | | |
| 測定 | 54.8% | ○ | | | | |
| 変化と関係 | 57.5% | ○ | | | | |
| データの活用 | 62.6% | ○ | | | | |

【考察】

- 「数と計算」の領域では、分母が違う分数のたし算について、共通する分数を単位にして考えると、整数のたし算と同じように計算できることを説明する問題の正答率が全国平均を下回りました。今後は、自分の考えを書いたり、考えを分かりやすく説明したりする活動を十分に取り入れ、既習の内容を生かして論理的に考え自分の言葉で説明できる力の育成を図っていきます。
- 「測定」の領域では、問題を解決するために必要な事柄を選択し、その求め方を

式や言葉を使って書く問題の正答率が全国平均を下回りました。全体的に記述式の問題において正答率がかなり下がる傾向にあるので、答えを導き出すまでの考え方を説明する活動を大切にし、表現力を高められるようにしていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領 域 | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|-------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| エネルギー | 46.7% | ○ | | | | |
| 粒 子 | 51.4% | | ○ | | | |
| 生 命 | 52.0% | | ○ | | | |
| 地 球 | 66.7% | | | ○ | | |

【考 察】

- 「エネルギー」の領域では、かね（ベル）が鳴るようにするための回路を選ぶ問題が全国平均を下回りました。電気が流れる回路の作り方について実験方法を確認し、電流が流れるということはどういうことかについて改めて指導することで、理解を深められるようにします。
- 「生命」の領域では、レタスの種子の発芽の条件について、これまでの実験と異なる点や共通点をもとに、新たな問題を見だし、文章で表現する問題が全国平均をやや下回りました。観察や実験の結果を検証し、具体的な条件に着目した場面を設定することで、考察力を高められるようにしていきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

| | | できている | どちらかといえば できている | どちらかといえば できていない | できていない |
|---|-----|-------|-------------------|--------------------|--------|
| 小 | 全 国 | 32.6 | 49.1 | 15.3 | 2.8 |
| 6 | 白五小 | 36.7 | 60.0 | 3.3 | 0.0 |

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」と答えた児童の割合が、合計96.7%と非常に高い結果となり、児童の意欲の高さが表れています。今後も内容にはそれぞれ差があることを踏まえ、一人一人に応じた支援の充実に努めていきます。
- 毎日の家庭学習について意識して考える時間を設定したり、他者の学習方法について知る機会を設定したりして、学力の向上につながる自分に合った学習の仕方について考えられるよう支援していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

| | | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | 全くしない |
|---|-----|-------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 小 | 全 国 | 12.1 | 12.8 | 29.1 | 27.4 | 12.9 | 5.7 |
| 6 | 白五小 | 13.3 | 13.3 | 40.0 | 26.7 | 3.3 | 3.3 |

(単位 %)

【考 察】

- 1時間以上家庭学習をしている児童の割合は66.6%で全国平均を大きく上回っています。ただし、「全くしない」と答える児童も見られることから、家庭学習の提出率100%を目指して、今後も家庭学習の習慣の定着を図っていきます。
- 「家庭学習の手引き」を活用して、改めて学習の内容や取り組み方を確認します。また、やり方が分からない児童への具体的な指導も行いながら、家庭学習の充実に努めていきます。本校では6年生の家庭学習の時間を【10分×学年(6)+10分】以上と設定しておりますので、今後ご家庭での励ましの言葉をお願いいたします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

| | | 当てはまる | どちらかといえば 当てはまる | どちらかといえば 当てはまらない | 当てはまらない |
|---|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 小 | 全 国 | 31.2 | 48.2 | 17.1 | 3.3 |
| 6 | 白五小 | 33.3 | 56.7 | 10.0 | 0.0 |

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が90%で、全国平均を上回っています。これからも、振り返りの時間を確保しながら、学習意欲の向上に取り組んでいきます。
- まとめや振り返りの時間では、分かったことを再確認して次の学習への見通しを持ったり、分からなかったことやうまくできなかったことの問題点や改善点を整理して、次の学習につなげたりしようとする意識を育てていきます。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

| | | 当てはまる | どちらかとい えば当てはま る | どちらかとい えば当てはま らない | 当てはまら ない | 学級の友達との間 で話し合う活動 を行っていない |
|---|-----|-------|-----------------------|-------------------------|-------------|--------------------------------|
| 小 | 全 国 | 40.9 | 44.0 | 11.5 | 2.7 | 0.8 |
| 6 | 白五小 | 46.7 | 43.3 | 10.0 | 0.0 | 0.0 |

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「自分の考えを持ち、進んで表現し、高め合う子どもの育成」を目指しています。授業においては、目的に応じたペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、児童の考えが深まるような授業を工夫し、実践してきました。その結果、自分の考えを伝えようとする意識が育ってきました。
- 今後は、友達の考えを聞きたい、自分の考えを話したいと思うような発問を工夫したり、子どもが互いの考えを比較・検討・吟味することができる時間を十分に確保したりするなどして、より深い学びにつながるよう授業内容を組み立てていきます。